

令和8年度「子供司書」養成講座全体研修

■日 時:令和8年7月18日(土) 10:00~16:00

■場 所:庄原市田園文化センター

■対象者:「子供司書」養成講座受講者19名(庄原市内小学校第5・6学年希望者)

【目的】児童の中に読書活動を推進するリーダーを育成し、育成したリーダーが学校や地域で読書活動の楽しさを広めていくことで、児童の読書活動の充実を図るとともに、言語活動の充実により学力向上を図る。

講話「『子供司書』になろう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 延近 恵



【講話の概要】

- 「子供司書」は、子供の読書活動を進めるリーダーである。周りの友達に読書を好きになってもらうよう、読書のよさや楽しさを伝えることが大切である。
- 認証に向け、学校での活動のほか、地域の図書館での実地研修が必要。感謝の気持ちを持ち、積極的に活動をしていこう。
- 読み語り、ポップ作り、掲示物やコーナー作り等、いろいろな活動を工夫してやっていこう。

講話「『日本十進分類法』を学ぼう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 延近 恵



【講話の概要】

- 「日本十進分類法」は本を種類ごとに分類したもので、これにより本の整理や検索を行うことができる。
- 庄原市立図書館の本や持参した本などが、どの分類になるか、実際にラベルや奥付を見て確かめた。
- 日本十進分類法の5種類以上をそれぞれ2冊ずつは読もう。いろいろな分類の本を読むことに挑戦し、読書の幅を広げよう。

講話・演習 「読み語りのプロから学ぼう！」

読書ボランティア「おはなしのいずみ」 代表 立花 有佐



【講話・演習の概要】

- 絵本の読み語りは、絵をしっかりと見せることが大切。そのための本の持ち方、ページのめくり方など、絵の邪魔にならないような読み語りを行っていこう。
- 本の選書がとても重要である。季節や相手、場の状況等を考慮して本を選ぼう。
- 本を選んだらしっかりと練習しよう。なるべく短い本を選び、どのような読み方をしたら聞き手に伝わるかを考え、工夫しよう。
- 途中で聞き手に問いかけたり絵を指し示したりせず、聞き手の自由な想像の妨げにならないような読み方をしよう。

演習 『『おすすめの本のポップを作ろう』大作戦！』

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 延近 恵



【演習の概要】

- よりよいポップを作るポイントは6つ。
- ①タイトルや作者名をはっきり分かりやすく書く。
- ②内容を少しだけ紹介する。
- ③キャッチコピーを書く。
- ④輝く言葉を引用する。
- ⑤デザインやイラストを工夫する。
- ⑥どうおもしろいかを書く。

この6つのポイントを生かしながら、自分の紹介したい本のポップを作成した。

参加した児童の感想

- ・ポップの作り方のコツが分かった。学校で自分のおすすめの本のコーナーを作ってみたい。
- ・日本十進分類法についてくわしく知ることができた。学校では、本が好きではない人も好きになれる取組や図書室の本の整理などをしていきたい。
- ・読み語りをするときの聞き手が見やすい本の持ち方や、絵のじゃまにならないような手の動きをするなど、工夫したいところがたくさん見つけられてよかった。本のおもしろさを伝えられるようにこれからがんばりたい。